

## 7月から急増『おうち熱中症』に要注意

～「早めのエアコン試運転」で猛暑を乗り越えましょう～



2022年の夏は、例年より気温が高くなる予報が気象庁より発表されており<sup>※1</sup>、エアコンの稼働が増えることが予想されます。独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE（ナイト））では、メンテナンス不足などでエアコンが使用できないことによる「おうち熱中症」を防ぐために、本格的な夏期シーズンに入る前の「早めのエアコン試運転」を推奨します。

気温が高まると気をつけなければいけないのが熱中症。特に屋内で発生する「おうち熱中症」です。総務省消防庁の過去5年間の統計データによると、熱中症は7月に急増し、半数以上が高齢者、約4割が住居で発生しております。また、2021年の東京23区のデータでは、屋内で死亡した人のうちの約9割はエアコンを使用していませんでした。（P.3図4参照）

「おうち熱中症」を防ぐために、「早めのエアコン試運転」を行いましょう。エアコンの点検・修理・工事依頼は夏場に集中します。比較的空いているこの時期に、お持ちのエアコンが正常に動作することを確認しておき、熱中症のリスクを低減することで、快適で安全に猛暑を乗り越えましょう。

### 【エアコン試運転 確認すべき5つのポイント】<sup>※2</sup>

#### ●試運転前にすること

- ①電源プラグや室内機のフィルターにほこりがたまっていないか
- ②室外機の上や前に物を置いていないか、汚れがないか

#### ●試運転の際にすること

- ③冷房運転で冷風が出るかどうか  
（設定可能な）最低温度に設定し、10分間試運転して確認しましょう。
- ④さらに30分ほど運転して以下のような異常がないか確認しましょう。
  - ☑室内機から水漏れがないか
  - ☑異音・異臭がないか（室内機及び室外機）
  - ☑エラー表示がないか、運転が意図せず停止しないか
- ⑤異常が確認された場合には、販売店やメーカーに相談し、必要に応じて点検を受けましょう。

▶早めのエアコン試運転は、事故を未然に防止し安全にお使いいただくためにも有効です。



※1 気象庁発表 3ヶ月予報（06月～08月）[気象庁 | 季節予報解説資料 \(jma.go.jp\)](https://www.jma.go.jp/jma/press/seasonal/seasonal.html)

※2 一般社団法人日本冷凍空調工業会 [https://www.meti.go.jp/policy/it\\_policy/air\\_conditioner/air\\_conditioner\\_maintenance.pdf](https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/air_conditioner/air_conditioner_maintenance.pdf)

## ● 5年間の熱中症による救急搬送人員数

2017年から2021年までの5年間の熱中症搬送人員について、図1に「月別の熱中症 救急搬送人員数」を、図2に「年代別の熱中症人員の割合」を示します。熱中症は7月から急増し、高齢者の方に多く発生しております。

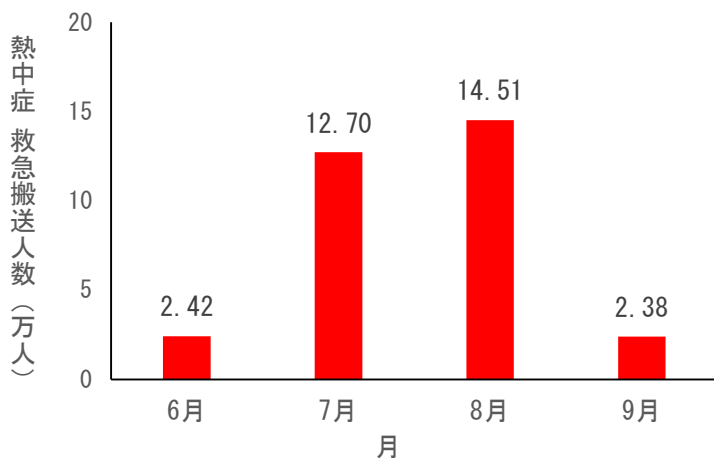


図1 月別の熱中症 救急搬送人員数

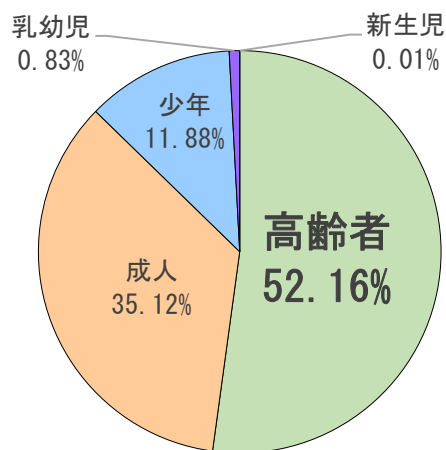


図2 年代別の熱中症 救急搬送人員の割合

## ● 5年間の熱中症発生場所

2017年から2021年までの5年間の熱中症の発生場所について、図3に示します。熱中症の発生場所は住居が多くを占めていることが分かります。

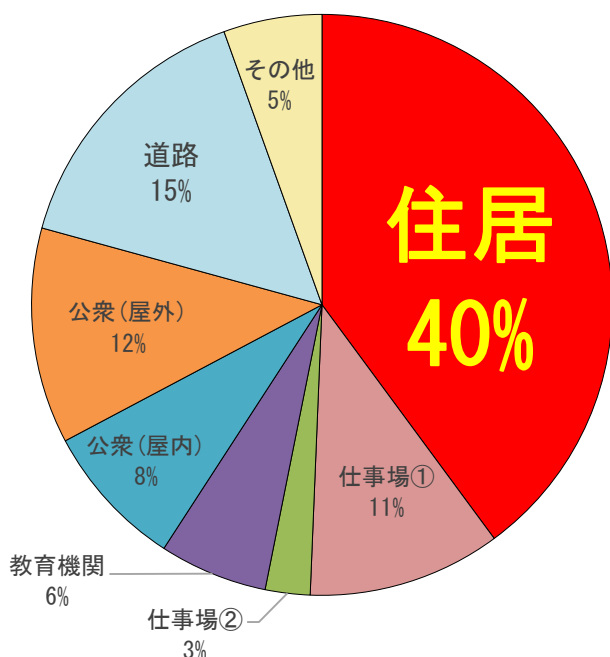


図3 熱中症の発生場所の割合

住居	敷地内全ての場所を含む
仕事場①	道路工事現場、工場、作業所等
仕事場②	田畑、森林、海、川等
教育機関	幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校、専門学校、大学等
公衆(屋内)	不特定者が出入りする場所の屋内部分 (劇場、コンサート会場、飲食店、百貨店、病院、公衆浴場、駅(地下ホーム)等)
公衆(屋外)	不特定者が出入りする場所の屋外部分 (競技場、各対象物の屋外駐車場、野外コンサート会場、駅(屋外ホーム)等)
道路	一般道路、歩道、有料道路、高速道路等
その他	上記に該当しない項目

(図1・2・3) 総務省消防庁 HP「熱中症情報」より NITE が作成

<https://www.fdma.go.jp/disaster/heatstroke/post3.html>

## ●2021年夏の東京23区における熱中症死亡者の状況

2021年の東京23区での死亡者の8割以上は65歳以上の高齢者です。そのうち、約9割が屋内で死亡しており、さらにその約9割がエアコン未使用でした（図4）<sup>※3</sup>。

### 【高齢者がエアコンを使用しない理由と対策】

高齢になると体温の調節機能や感覚機能が衰え、暑さやのどの渇きを感じにくくなります<sup>※4</sup>。そのため、猛暑日でも暑いと思わず、エアコンをつけずに過ごすことで熱中症に陥るのだと考えられます。熱中症予防のために、「早めのエアコン試運転」でエアコンの正常運転を確認できたら、暑い日にはエアコンを積極的に活用し、こまめに水分補給をしていくことが大切です。特に、高齢者がいるご家庭では、周りの家族がエアコンの使用を促してあげるといった積極的な声かけも重要です。

### 屋内での死亡者のうち

- **約9割はエアコンを使用していなかった**

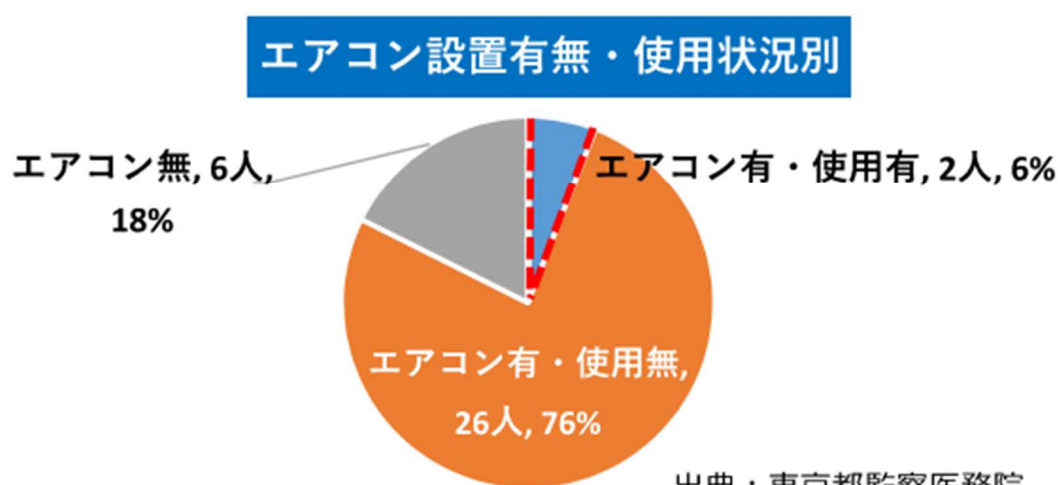


図4 熱中症死亡者とエアコン設置の有無

※3 令和4年4月13日環境省公開「熱中症の現状と対策について」より引用

<http://www.env.go.jp/press/110903/mat01.pdf>

※4 環境省 熱中症予防情報サイト「高齢者のための熱中症対策」より引用

[https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/pr/heatillness\\_leaflet\\_senior\\_2021.pdf](https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/pr/heatillness_leaflet_senior_2021.pdf)

### お問い合わせ先

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター 所長 古田 英雄  
担当者 製品安全広報課 山崎、安元（やすもと）

Mail : ps@nite.go.jp

Tel : 06-6612-2066